

## 被爆体験談選定委員会の開催結果について

## 1 第1回目（7月7日（木））

## (1) 議題

- ア 今年の平和宣言の内容について
- イ 被爆体験談の盛り込み方について

## (2) 主な内容

- ア 今年の平和宣言の内容について

これまでの平和宣言に盛り込まれてきた5つの要素やその年の時代背景を踏まえた要素について説明した上で、議論を行った。

- ア) これまでの平和宣言に盛り込まれてきた以下の5つの要素については、引き続き盛り込むことについて了承を得た。

- ・ 平和への決意や誓い
- ・ 被爆の実相
- ・ 核兵器廃絶に向けた世界への訴え
- ・ 被爆者援護施策の充実に向けた国への訴え
- ・ 原爆犠牲者の慰霊

- イ) その年の時代背景を踏まえた要素として、今年は東日本大震災や福島原発事故に言及し、エネルギー政策の見直しを求める（原発そのものには言及しない）ことについて了承を得た。なお、この点については、以下の意見を頂いた。

- ◎ 改めて「核と人類は共存できない」ことに言及してほしい。
- ◎ 原発事故に鑑み原子力を厳格に管理する必要があるということに言及してほしい。

## イ 被爆体験談の盛り込み方について

被爆者から頂いた73件の被爆体験談の中から各委員が選んだ19件をもとに議論を行った。主な意見は、以下のとおり。

- ◎ 市長の思いを縦糸にし各委員の意見等を横糸にした宣言にしてほしい。
- ◎ 市長の琴線に触れる体験談を選ぶことが一番だと思う。
- ◎ 8月5日の平穏な生活に触れてから8月6日の悲惨さを表現すれば効果的である。
- ◎ 被爆の状況を一人の体験談で描写することにインパクトがある。
- ◎ 大切な人を突然亡くした思いや、生き残ってしまった罪の意識など自分に置き換えられる体験談が若い世代に伝わりやすい。
- ◎ 被爆体験をまず自分自身が理解し、周りの人に伝えることが大事である。
- ◎ 最後の力を振り絞って訴える被爆者の声に耳を傾けるよう呼び掛けてほしい。
- ◎ 様々な思いを胸に亡くなっていった死者の叫びを入れてほしい。
- ◎ 平和記念公園に市民生活があり犠牲者が眠ることに言及してほしい。
- ◎ 大きな犠牲の上に今の平和と復興があることを忘れてはいけない。
- ◎ 世界中からの支援により復興したことも重要な要素である。

## 2 第2回目（7月19日（火））

### (1) 議題

被爆体験談を盛り込んだ平和宣言文案について

### (2) 主な内容

前回の議論を踏まえて選定した被爆体験談を盛り込んだ平和宣言文の骨子案について説明した上で、議論を行い、選定した被爆体験談を盛り込むことについて了承を得た。

また、やさしい言葉を使うことでしみじみと伝わりやすく、市長、市民、被爆者の思いが色濃く反映され非常に身近なものになっているとの評価を頂いた。

なお、これとは別に平和宣言文の骨子案について、より良いものとするため議論を行った。主な意見は、以下のとおり。

- ◎ 「原爆は二度と御免だ」、「こんな体験を他の誰にも味合わせたくない」など、核兵器を否定する被爆者の思いを入れた方が平和宣言に被爆体験談を盛り込む意味が出るし、伝わりやすいのではないか。
- ◎ 被爆体験談は、活字だけではなく耳から聴いても分かりやすい表現にすべきだ。
- ◎ 平和宣言文を読み上げる際は、特に被爆体験談の部分に感情を込めてほしい。
- ◎ 被爆者を表現する際には、すべての被爆者とした方が、国内のみならず海外の被爆者のことまで考えていることが分かる。
- ◎ 被爆者が高齢化し少なくなってきたことを表現する際は、被爆者に配慮した表現とすべきである。
- ◎ 東日本大震災や原発事故の被災者を思いやる言葉を盛り込んだ方がよい。
- ◎ 若い世代に知ってもらうため、原爆投下時刻である8時15分を明記した方がよい。

被爆体験談選定委員

区 分		人 数	委員（敬称略、区分ごとに五十音順で整理）	
			氏 名	役職、著作等
1	市長	1人	松井 一實	—
2	被爆者	2人	池田 精子	公益財団法人広島平和文化センター被爆体験証言者
			坪井 直	日本原水爆被害者団体協議会代表委員
3	広島平和記念資料館長	1人	前田 耕一郎	—
4	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館長	1人	岩川 和行	—
5	原爆に関する文筆家、映像作家等	3人	碓井 静照	広島ペンクラブ元代表、IPPNW（核戦争防止国際医師会議）日本支部長
			大西 知子	著書：「命かがやいて—被爆セーラー服のなみだ—」
			田邊 雅章	被爆70年事業「ヒロシマ・プロジェクト」爆心地復元映像製作委員会代表
6	報道機関	2人	秋山 光智	日本放送協会広島放送局放送部長
			江種 則貴	中国新聞社論説委員
	計	10人		